

ロンドン大学衛生熱帯医学大学院 (LSHTM) との連携

<https://www.tmgh.nagasaki-u.ac.jp/>

長崎大学大学院熱帯医学・グローバルヘルス研究科 (TMGH) 設立 (2015 年) に伴い、LSHTM との連携が「大学院レベルの研究教育協定」に発展しました。TMGH に LSHTM とのクロスアポイントメントの教員が在籍しており、様々な場 (研究や大学院生教育) での交流が行われています。特に臨床感染症学分野ではその中でも TMGH のクリス・スミス教授との連携が強く、スミス教授が管理統括している TMGH 関連のコースの熱帯医学衛生学ディプロマ (DTM&H: Diploma in Tropical Medicine and Hygiene.) と熱帯医学コース (MTM: Master of Tropical Medicine) での協力も指導側で参画、フィリピン・サンラザロ病院の長崎大学研究拠点の運営管理でも協力体制を構築しています。そのような関係からこれまでも多くの教職員がそれらのコースへ参加し、また同研究拠点での研究にも参加しています。

また、臨床教育の面でのもう一つの特徴としては、DTM&H: Diploma での授業には多くの LSHTM を中心として感染症のエキスパートの外部講師が長崎に来られるため、そのレクチャーに参加する以外にも、大学病院にそれらの感染症エキスパートの先生らを迎え、症例ディスカッションの機会を多く設け、若手医師らの教育に大きく貢献してもらう協力体制もあることが、国内の他の大学にはない特徴です。MRC Gambia (MRC Unit The Gambia at the London School of Hygiene & Tropical Medicine) での研究、フィリピン・サンラザロ病院での研究でも LSHTM の先生方とのコラボレーションに発展しています。

LSHTMの感染症コンサルタントらとの 臨床ディスカッション(DTM&Hと大学病院)



Chris Smith
(TMGH)